（五日夕刊）
磐城新聞
休刊 大祭日翌日
定價 壹枚二錢 壹ケ月五十錢 郵税十錢
廣告料 一行二十錢（指定廿錢增）
發行兼編輯印刷人 遠沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六四番

映畫 メトロポリスを見て（下）

在小名濱 水野忠護

かく考へ來つた時吾人は誰しも必ずや怪しくも確かな第六感の秘言に身の毛のよだつのを禁じ得ない。それは地球自體が流星との衝突により破壊されるよりも大噴火によつて破壊し去られるよりも吾人に取つてはつく〜大きな悲しみであらねばならぬ。必すべき精神文明の停滯、驚ろくべき科學の發達と機械文明の前進的急テンポ。

かくてかくまでかけ離れた靈と現實との世界の懸隔を如何に處理すべき。この憂ふべき雨文明の調和をスタビリテイーを如何に計るべきか？それは私しの知つた事でわない。その點に就いてはたゞ一刻も早く經世家諸氏の奮起を望むのみ。

つい先達、金の國、アメリカに於てその移民官憲の非禮な待遇に怒つて急遽、歸國の途につき、途中東朝社の招に應じ日本に着いた印度の詩聖タゴール翁はその講演中次の樣な事を言つた。「歐米に尊き靈の世界を見出さんとするは最早や夢となりたり。今こそ我々東洋人が立つべきの秋であらうよ。五千年の昔、燦爛と咲きし東洋の精神文明の跡今何處。安らけき夢むさぼるの日は早や去りぬ。奮へ我が友。奮へ同胞、頼もう方なき靈は今や御身方の心底に聖火となりて燃ゑんとすらん」と。

私はこの時突然甲高い女の子の叫び聲に物思ふ心を奪われた。ふと聲の方を見やればそこには早八九人の人が集まつて何か聲高に呼んでゐた近寄つて見れば十位の女の子が自動車にひかれてゐた母らしい四十格構の婦人は狂氣の樣になつてもう虫の息の子を抱き上げて頬ずりをしてゐる。醫者が來た然しその時は已に彼の魂はこの世にはなかつた。哀れなる機械の犠牲者よ。私は擔荷で運ばれて行く不幸な乙女に同情の涙を贈つた。寂びしい池の端通りには合間々々に走り過ぎて往來する電車と自働車以外には何にもない。街燈が青白い光を冷たいペーブメントの上になげかけてゐるお濠の中の水鳥が何かに驚ろいてバタバタと二羽三羽あとは死の樣な靜けさ。

私は何だかあの哀れな小女の命が氣になつて仕方がない。今晩は妙に感傷的になつてしまつた。で銀座へ行かうと思つてたのを急にやめてすぐ家へ歸る事にした。こんな晩は靜かに獨り本でも讀むにかぎる。立止つて待つ間もなく一臺のタクシーは私の前でとまつた。柔らかなミドルライトに照らされた青紫色のクッションに身を埋めるとやつと落着いた氣持になれた。

「メトロポリス」!!良い映畫を見た後の愉快な氣分何時までも何時までもこの氣持が續く樣に、子供みた樣な本當に純な氣分。流石はTM氏の原作だけあつて見ても見甲斐がある。日本でも何時まで下らぬ通俗映畫一點張りでも仕方があるまい。早くあの位の映畫を作つてほしい、映畫は今や明らかに吾人の日常生活の重大なる路件だ。だから私は映畫の内容の向上を切望して止まぬ人は感化されるものだ。そして割合に從順な良い動物だ。そんな事を考へてゐる時、車はゆるいカーブを作つて今し清洲橋に差しかゝつた。もうすぐ家だなと思つた（終り）

明日の吉凶

新暦六月六日　舊暦四月二十九日

▲一白 目上にはよくとも左右の折合ひは惡き日▲二黒 先を見枯らさず足元に注意して勵むべし▲三碧 働きを目上に認めらるゝ日奮勵一番怠るな▲四綠 勤けば動くほど深みに搖れ陷る日注意〜▲五黄 運氣よく成りし樣で實務の十分ならざる日▲六白 聞き違ひより意外の口舌を惹き起すことあり▲七赤 姑息の手段を取らず一意誠を以てすべき日▲八白 山氣は破れを招くとも本業大切に守るべし▲九紫 多少の面倒はありとも概して進みてよき日

短歌

生活を歌ふ　小川郷 草野春水

荷れ狂ふ雨師風伯と戰ひつゝ、學校さして我は急げり
散り失せし花の行衞をいぶかれる數へ子の顔を幻に描きぬ
黄昏の小徑をひとり歸りゆく友見送れる跡の淋しき
黄昏の家路を急ぐ帽の上にぽとり落ちて轉ぶ花桐
見る毎に育ちゆくなる數へ子よ正しき人と伸ひゆけよかし

同　吉岡獨歩

若き友の今宵も巷を訃れて理想の事ども語れる嬉しさ
折々は世を憤り時を慨く若き思想家の我が友垣よ
御心ペスタロッチーも斯くやらんと我がよき友を心に讃ひぬ
友として語りてあれば夏の夜の短きが尚いとゞ短かき
隔てなき父子と人の見るまでに睦び語らふ友と我か那

小説　死を超ゆる者（8）

三上於菟吉作　布施平八郎畫

小公園の逢曳（三）

「私に社長の後妻になれつて言ふんですの!」

とき子は口惜しい思ひをこの一言に籠めたやうに叫ぶが如く言つた。そして又もせぐり上げはじめた。

大學生は憤るよりも呆れたといふやうに——

「後妻にだつて、あの社長は聞はもう五十過ぎてる人ではないか!」

「五十四ですわ……と、き子はつぶやいた。社長の年齢なんかどうでも——私には、私にはあなたといふ方が……」

娘はたうとう堪らなくなつたやうに、並んで腰掛けた大學生の膝の上に顔を伏せて哭き崩れた

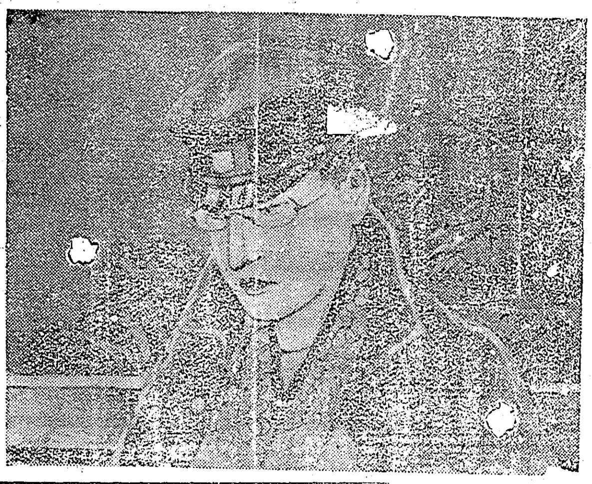
青年はその背に手をかけて

「で、もし君が不承知なら訴へるといふのだね?」

「た父さんは何んと言つてゐるの?」

「この話がないうちは、どうしても會社の方で許してくれなければ自分で犯した罪だから法律の制裁も受けよう——殊によつたら自殺してた詫もしようと考へてゐたがさういふ話を聽いて見ると生命が惜しくなつたつて……」

「あの人は氣の弱い人だからね。眞實に弱い心を持つた人だつたよ僕の邸をしくじつて出る時にもさうだつた。弱いから罪を犯す人だ——しかし、そんなら、その六千圓が出來ない限りお父さんの身の上は君の返事ひとつにかゝつてゐる譯だね……」



とき子は答へなかつた。彼の女のせぐゝり哭きが深くなるばかりだつた。

「君はお父さんを助けるためにどんな犠牲にでもなる氣かね?」

「とき子は俄に相手の膝にかぢりついて、激しくかぶりを振つた

「た父さんは助けたいけれど、聞さんのおくさんになる位なら私は死んでしまひますわ……」

だと言つて……」

と青年は苦悶と當惑とにうな垂れながらつぶやいた

「だと言つて六千圓といふ金は……だが、まあた起き考へよう」

とき子はいたはられて身を起した。そしてたくれ毛をかき上げながら涙に充ちた目で戀人を仰いだその眼には決心の色があつた。

「私は若樣に一年の間からして愛して頂いたのですから、もう心殘りはありません。今直ぐに死んでしまつても——」

「いや、そんなことは考へてはいけない。死ぬなんて

と青年は相手の言葉を止めた。

「ねえ、とき子さん、そんなことをすれば第一た父さんに對して言ひつけに……それが無理な言ひつけでも言ひつけに背いたばかりが面あて見たいな風になる。じやあかうしよう。僕の阿父も阿母もあんな人間だから、とてもこんな相談相手にはならないが、櫻木へ片づいてゐる姉は柔しい人が全額出來ないにしろ半分位はどうにかなるかもしれない……ね、哀しいことは考へず明日まで待つてくれ給へ」

さう言ひかけて大學生は勇み立つた。

「恰度さいはい今夜僕は聞田男爵の忘年會に招ばれてゐるのだ、有名なピアニストの演奏があるといふから行つて見ようと思つてゐるんだが、彼邸へ行けば姉にも逢へるだらう會が果つてから二人だけのところでよう話すよ。さうすればあの女のことだから僕たちのためにも乾度力になつてくれるよ。ね、乾度大丈夫だよ」

とき子は相手の快活な聲に元氣づけられた。彼女はもう哭かなかつた。

◎夏衣陳列
粋な中形
着尺モスリン
名仙單帶
其の他色々
どうぞ御來店を
三丁目 鶴田屋

廣告
シボレー一九二七年式
中古 乘用自動車一臺
極く低廉で是非讓り渡したし希望の方は來談下されたく御相談に應じます
湯本町表町（出形屋旅館前）
赤津八太郎

貸地廣告
平町郡役所より税務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります。然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極ぐ安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり戴けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話 六〇三番 五四一番

植田町本町
前田醫院
…入院隨時…
電一一二四番

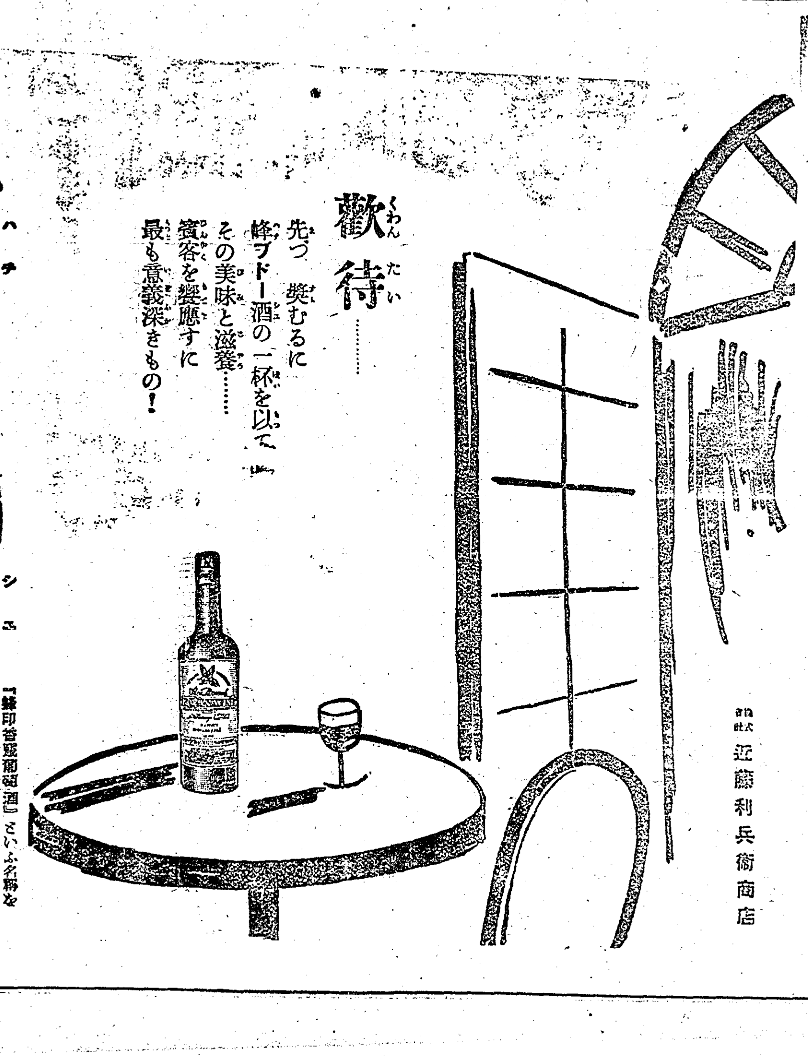
ユラノスケ 粕取燒酎（六月一日ヨリ發賣）
二合白瓶一本 二十五錢
（從來通り空瓶交換仕可候）
平町四丁目驛通り
永山酒造店總發賣元
電話二〇七番

夜間診療
胃腸
内科 十二指腸虫病 專門 内科部
梅毒
淋病 婦人病 皮膚病 專門 外科部
松村胃腸性病科醫院
（平町南町電話一〇七番）

外科一般（入院隨意）
内臓外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

生花教授
池ノ坊流 生花を懇切叮寧に御教授いたします、た遊びがてら御出で下さい。
平町十五丁目通り
須藤まつの

蜂ブドー酒



歡待……
先づ奨むるに蜂ブドー酒の一杯を以て
その美味と滋養……
賓客を饗應すに
最も意義深きもの!

『蜂印香竄葡萄酒』といふ名稱を皆樣のお奨めに依り且は時勢の推移に鑑み今後『蜂ブドー酒』と改めます なほ市場にある從來のものは其儘にして御安心の上引續き御愛飲を願ひます
合資會社 近藤利兵衛商店

器械新設
体温計無料檢査
皆樣の御手元まで御覧に入れました引札の如く今回最新優秀なる檢定器を設置し無料で檢査いたしますから御遠慮なく御持來を願います
（檢査日）毎月十日
平町二丁目
指定販賣所 西村屋藥舖
電話三番

特賣!!
たひら正宗 福島縣清酒品評會一等賞受領
花春 同優等賞受領
鹽屋 醬油釀造元
山崎合名會社
電話一〇番

小供洋服生地
今夏の新柄が澤山揃いました
相かはらず御用命の程御願い申します
各女學校御用達
平町田町
ハシモトヤ糸店

今夜十二時限りで 議員の當選確定
殘るは鈴木氏の認可如何 平の初町會延期

町村會議員の當選確定は選平町新町會は未だに當選の擧終了告示後滿五日を以て確定を見るに至らず追つて確定する筈で平町會の當選來る十日迄に議決すべき家は今五日午後十二時を以て屋税ヶ延期の外なく當局は確定する筈である、而して縣當局に向つて更らに十五今年度家屋税の附加議決も日間の議決延期を願出た、六月十日迄に限られてあり而して鈴木光吉氏の當選に旁々平町當局は來る十日新對し知事の處分決定如何は町會を開く豫定であつたが或る種の注目を惹いてゐる鎌田町から立候補して當選が靜岡縣は既に小學教員のした鈴木光吉氏は現に小學町村會議員當選を認可して校教員を奉職中で新選擧法ゐる先例もあり十中八九認には小學教員の被選擧權を可を見るものの如く、萬一認めてゐるが當選の曉きは不認可の場合は鈴木氏は小其の可否につき知事の認可學校教員を辭職する迄の決を必要とするので今五日鈴心を有してゐるらしく何れ木光吉氏より知事宛認可申茲二三日中には結果の判明請を提出したが之れが爲めを見るものの如くである

五月中の郵便物が 三十萬を突破
選擧の爲めの増加で 平局の事務狀態

平郵便局五月中の事務取扱(振出)四萬七千七百六十一は普通郵便引受二十九萬三圓四十七錢(拂渡)四萬九千千三百三十七通、配達三十百三十五圓七十八錢(預入)萬七千八百六十三通であつ十八萬二千九百二十五圓十たが市內特別郵便は町會議七錢(拂戻)十七萬三千十一員選擧のため四萬六千四百圓三錢振替貯金は(押込)四十七通の多きに達し前年同萬三千百五十圓一錢(拂出)月に比し四萬六千百六十七四萬二千五百十一圓五十錢通の增加である郵便貯金はで一般に增加してゐる簡易保險は受持口數一萬六千百五十七口で前年より一千八百四十三口增加し保險料は九千九百八十九圓七十錢で前年より二千三百圓二十五錢多い年金は最近成績よく現在の掛金二千百三十八圓二十八錢拂渡は五十九圓の僅少なもので交換嬢の市內呼數は驚く勿れ四十一萬九千八百二十六回であつた

神谷村二毛作

石城郡神谷村の蔬菜、麥、レンゲ等の現地二毛作品評會は來る七日午前九時より行はる郡農會大山技師柴田技手が審査のため出張すると

共濟病院に 黑鼠
義男捕はる

石城郡赤井村大字赤井字窪田居住磯上義男(三)は平常から素行が惡黑標の者であるが去月二十日午前六時頃中町鎌田遊廓で遊興し歸途中五丁目理髪店宮崎信一方の座敷に忍入り絽無地の羽織一枚十圓餘を窃取した事平署に發覺し引致き取調の結果同月十日頃十五丁目共濟病院二階病室にあつた看護婦の衣類數點を風呂敷に包み盜み出した事自白したが餘罪ある見込である

平署五月の 犯罪件數
合計で百二件

平警察署五月中に於ける犯罪數は合計百二件に達し各種別件數は窃盜三十四件、詐欺二十三件、橫領五件、賭博二件、傷害七件、暴行一件、自動車取締違反七件失火一件、毀棄隱匿罪五件火藥違反二件、齒科醫違反一件、度量衡違反一件、珍らしい猥褻姦淫罪が三件あつたが之ら犯罪者中女が七名あつた

山林に小娘を擁し 怪しからぬ振舞
咽喉を締めつけて脅迫 犯人平署に逮捕

石城郡內郷村大字綴字堀坂居住磐城炭礦綴坑運搬夫新田義明(二六)は去る三日午後一時頃積炭したトロを押して好間村下好間地內の運炭專用軌道第二隧道內で歸校途中の同村高坂小學校高等一年生鈴木マツ(假名一六)を擁し押倒して怪しき擧に出でんとしたのにマツは驚きのあまり悲鳴を擧げて抵抗するやマツの咽喉を締め付け昏倒するのを見て逃走行衛を晦したがマツは程經て蘇生し家人にこの事を告げたが說明は又もや翌四日午後二時半頃內郷村大字綴字菊井場松木ミヨシ(假名一四)が綴字板見澤地內山道を通行中後方より手拭を以つて咽喉を締め「俺れの言ふ事を聞かぬと殺してしまふ」と脅迫し山林に連込みたる所を通行人に發見されその儘逃走した平署では急報により青田部長、各刑事好間村江島巡査、綴高橋、佐藤巡査が極力搜索中犯人は同日夜八時頃自宅に戻つたところを取押へ嚴重取調の結果右の暴行を自白した

無屆異動地に就て
平税務署

無屆異動地とは何か

皆さんの大切な土地は税務署の土地臺帳に其字、地番、地目、面積。土地の等級、所有者等の事項が一筆毎に登錄してあります又其の境界は土地臺帳の附屬地圖に依りて一見明瞭になつて居ります。地目と云ふのは土地を其の利用、狀況に依て區別した名稱でありまして田、畑、宅地、鹽田、鑛泉地、池沼、山林、牧場原野、雜種地の十種となつて居ります。

此の地目を變更するのを土地の異動と云つて居ります此の場合は夫々税務署に屆けて土地臺帳の登錄事項を訂正して貰はねばなりません。然るに之を屆けずに放置するものを無屆異動地と云ふのであります。土地の異動の場合は列擧して見れば大体左の通りであります。

(イ)田を畑に又、畑を田にしたとき
(ロ)田又は畑を宅地にしたとき
(ハ)宅地を田又は畑にしたとき
(ニ)田、畑又は宅地を鑛泉地にしたとき
(ホ)田、畑又は宅地を山林、原野にしたとき
(ヘ)山林、原野、池沼を田、畑、宅地又は鑛泉地にする爲開墾に着手したとき
(ト)溜池又は公共の用に供する道路等を其用途を廢して田、畑又は宅地としたとき

屆は何時出せばよいか

以上列擧した樣な土地の異動は三十日以內に屆出ることになつて居り此の屆を怠るときは法律で制裁があるのでありますが今回に限り屆出期限を經過したものでも税務署が調査に著手する前に即ち本年六月末日迄に屆けて下されば制裁を行はす行はす地主の方に有利な取扱をすることになつて居ります

又都合に依て六月中に屆書を作ることが出來ないと云ふ樣な場合は今回に限り單に何字の何番と土地は元の地目が何であつたが何地目に異動致しましたと言ふことを不取敢書面又は口頭を以て一應税務署又は市町村役場に申出になれば税務署は其の土地に付ては調査を三十日間猶豫致しますから其間に正式の屆書を提出すればよいと云ふ便宜の方法を講ずることに致してあります

屆けるにはどうすればよいか

土地の異動屆をするには先つ異動した土地の測量して其の反別坪數を計算せねばなりません夫れから測量圖を作ります次に其の土地は近傍の土地と比較して何番の土地と同等の地價を附けるのが相當であるかと云ふことを調べて屆書を正副二通作り之を異動地所在の市町村役場を經由して税務署に屆けるのであります(屆書の樣式は大体後記の樣に一定されてあります)

地主の方が自分で此の屆書を作ることの出來ないと言ふ人の爲には税務署に土地調査人に曳るべく低底の手數料を以て書類調製の依頼に應ずる樣斡旋して居ります。

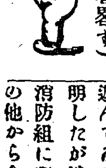
屆を出さねばどうなるか

屆を出さない人に付ては罰金科料の製裁が法律に定めてあります又開墾地の如きは屆を出せば開墾着手の年から二十年間は地價の修正を爲さず元の地目である山林や原野の儘で輕い地租を納めて濟むのであります若し屆を出さなければ直に成功した地目に依つて地價を定め地租を徵收されるのみならず成功の年に溯つて地租を追徵されるのであります。

土地の異動を屆けないで置けば地籍か亂雜になつて番地と土地臺帳や地圖と符合せないことになりますさすれば色々と面倒な問題が起つて來ます境界の爭なども其の源は此の地籍と言ふことを輕んじた所から生ずるのであります。

又山間の村落などに於て祖先の代から木を植たり手入をしたり木を伐つたりして自分所有地の樣にして居る土地がありましても其の土地は税務署の土地臺帳に何某の所有地として登錄されて居らなければ後になつて唯登錄して貰い度いと申出ても何とも致し方がないのであります是は昔地租改正の際屆を出さなかつた爲めでありまして法規の命する所に依り脫落地として相當の代價を以て買受けねばならぬと云ふことになるのであります。斯樣に地籍と云ふことは大切なものでありますから之を完全に整理して置かないと土地の價が高まつて行くに付け世の中が複雜になつて何くに付け圖らざる不利益を見ることがあるのであります。

(屆出樣式は省畧す)



神谷農試分場で 完全な溫室設備
一般園藝者に利用せしめ 東京市場へ飛躍

農事試驗場石城分場の溫室床は分場創立當時單に試驗場用のものとして設置したもので從つて一般用の溫室溫床と異なつて居るので分場では現在のもの丶外實用經濟を主としたものを設置すべく目下計畫中であるこの

一般的實用の溫室は

即ち最近における溫室溫床利用の蔬菜栽培が縣外ことに東京方面に於て特に普及した結果、各種蔬菜、花卉類がどん／＼移入して地元蔬菜栽培業者が壓迫された傾向があり之れは實用的溫室設備がないためであると云ふので計畫したものできるこの計畫中の溫室が一般蔬菜園藝業者に充分活用し得ることになれば縣內勿論

東北一帶

の市場を獲得した上は餘力を以て反對に東京市場に移出せんとする頗る理想的大計畫であ

る石城郡の氣候はこの溫室溫床栽培には非常に適して居るので石城分場としては是非この後の經過を調査しつ丶あつたが去る三日の模樣では受胎したらしいので組合でも頗る喜んで居るがこれが完全に受胎することになれば明年は更に多くの馬に試驗する豫定であると

平局舍工事
七月四日迄に落成

平驛の改築は合資丸山組により行はれてゐるが內部署々完成してゐるので工事契約期日七月四日前までに大体落成を見るであらう

所得と收益
昨年度より減少

平税務署管內石城郡下の四年度所得税及營業收益税納額別順位は左表の如くこれを三年度に比すれば驚くべき減少の數字が示されてゐる

△所得税

單位圓	四年度	三年度
一萬以上	一	一
五千…一萬	一	一
二千…五千	四	三
一千…二千	八	一四

長生きを苦にして 老婆の猫自殺
農繁に手足まさいさ 中風の身を悲觀

双葉郡大久村大字小久田仲いの(七九)は四日午後七時頃寢室に於て猫イラズ自殺を遂げた

いのは一年前より中風症に罹り身体の自由を失ひ最近は農繁期又養蠶期で家人は猫の手もかりたいと思つてゐるのに自分は家事に手傳へするところが反つて手厄介になつてゐなければならないので何んといふ因果なことかとそれを非常に苦慮してゐたそれにいのと親友の同年者達はもう殆どこの世に居ないので淋しさのあまり終に厭世自殺を遂げたのである

小名校增築
八敎室を決議

石城郡小名濱町の小學校兒童數は年々加速度の增加を示し現在の小學校敎室では非常に狹隘を感じ完全なる敎育をなすこと困難の狀態から鑑がみ同町役場では四日午前九時から町會を招集し延べ建て坪三百坪工費四千四百圓鐵筋コンクート二階建て八敎室を增築することに決定した

濱三郡水害 對策協議
郡農會長聯合

濱三郡町村支會長並に各郡農會長聯合會議は三日午前十時から富岡町元郡役所內にたいて開催水害對策に關し協議したがその結果災害地の應急工事、租税の減免被害民の救濟、補助を仰ぐに努力する等十一項目にわたる協議をなし午後二時散會した

玉山村長決定

玉川村助役駒木根忠三氏は去る一日の村會に於て萬場一致を以て同村々長に當選した

魔法ビンで 精液輸送
馬の人口受胎

石城産馬組合では去る三十日田村郡片倉根村から種牡馬の精液を魔法壜に入れて持ち歸り五時間後平町大塚武雄氏所有の馬に注入しその大計畫を實現して蔬菜、園藝の一大進涉を促す方針であると

かみしばゐ

◆華やかな永年の藝者生活の幕を閉ぢ橘の△△は過去を顧みて純眞な生活に精進することが出來るであらうか。否、ヴアンプの本能を發揮して益々淪落のドン底に墮ち行くのが定められた彼の女の運命であらう。憐れむべき性格破綻者よ◆彼は「今度は覺悟を決めた」といつてるから、ナニか身邊に起る事變を豫感して廢業したとの噂サもある「借金がなくなれば藝者を止す」と常々言つてた念願が屆いたのうとた目出たい話きあるドンなシーンが展開するかは第二幕を待たう◆長らく紙くづのお得意であつた藝者だから。二日分を埋て敬意を表して置く。

石城地方は 好晴續き
當分は良好

石城郡地方は愈々養蠶最盛期に入つた農家ではこの頃の天候が非常に心配してゐるが現在農家にとつて物騷極まる低氣壓は千島列島の南にあるのみで。これは東北に進行しシベリヤ方面へ達するもので心配にはならない一方東支那海方面には高氣壓があるがこれはかへつて、當地方に取つては好天氣を繼續させるもので段々と東北方面へ向けて接近して來てゐる從つて當方面で吹いてゐる風が在る間は何等の變化もなくけふあたりは雷雨があるかも知れぬ何小笠原附近に颱風が現れてゐるがこれも影響はないものと見られてゐる

原因小供の弄火
色川製板工塲附近で 平町の火災後報

平町才槌小路に起つた四日の火災原因につき平署では關係者を召喚取調べ中の處色川材木店製板工塲附近に遊んでゐた小供の弄火と判明したが消火に盡力した平消防組に對し次の罹災者其の他から金品の寄贈があつた

(淸酒二斗)色川勝三郎　長谷川浩太郎　吉田五平　山野邊儀政　志賀子之松　馬目玉彌　江口忠一　馬目支店(金二十圓)門傳淸吾(十圓)同町一同

痔の最高內服藥 ダイサン錠
鼻のクスリ チクノール錠
平町五丁目角
山野邊藥局

近火御見舞御禮
橋本波貴智
平田町二一五

陳列即賣中の
婦人倶樂部浴衣
音曲諸流家元好み浴衣
大好評で御座へます
御來觀の程願上候
平町三丁目
三井呉服店

改正 片濱乘合自動車時間表
平發 五時三十分 六時三十分 八時 九時 十時 十一時 十二時卅分 一時五十分 三時 四時 五時二十分 六時三十分
江名發 五時三十分 七時 七時五十分 九時二十分 十時三十分 十一時五十分 一時 二時 三時三十分 四時四十分 五時四十分 六時四十分
平のりば 四丁目和泉屋前 新川町車庫
江名のりば 沖見屋 電話十四番 松屋
鈴木片濱自動車部 電話二二七 車庫呼出 電話一四二

安全第一
諸債券、公債ノ御用ハ迅速簡易ヲモツトートスル弊店ヲ精ニ御利用ノダサイ
營業課目
勸業債券 復興債券 公債其他 兩替 金融 質物一般 取扱
多田井商店
平町大工町

レコードハ此のマーク!を
HIS MASTER'S VOICE
TRADE MARK REGISTERED
肉聲のビクターレコード販賣店
會田時計店
平町四丁目(電話三六三番)
集募員店